

会 議 録

会 議 名	令和２年度第２回東浦町子ども読書活動推進会議	
開 催 日 時	令和３年３月１０日（水） 午後１時３０分から午後３時まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館２階 大会議室	
出 席 者	委員等	杉浦義徳氏（委員長）、奥田英子氏（副委員長）、山本美保氏、杉浦万記子氏、向井貴子氏、鷹見みゆき氏、山田忍氏　２名欠席
	事務局	恒川教育長、石川教育部長、佐東図書館長、新美図書館係長、長谷川主事、山本図書館指導員
議 題 （公開又は非公開の別）	１ 令和２年度「東浦町子ども読書活動推進計画（第三次）」に係る実績報告書について（公開） ２ 令和２年度子ども読書活動に関するアンケート結果の分析について（公開） ３ 令和３年度読書感想文コンクールについて（公開） ４ その他（公開）	
傍 聴 者 の 数	０名	
審 議 内 容	◆図書館長 館長挨拶 欠席者と会議の成立について報告を行う。 教育長へ挨拶を依頼する。 ◆教育長 （挨拶） ◆図書館長 委員長に議事の取り回しを依頼する。 以降は委員長が議事を取り回す。 ◇委員長 次第に従い議事を進める。議題１ 「令和２年度「東浦町子ども読書活動推進計画（第三次）」に係る実績報告書について」を議題として、事務局からの説明を求める。 ◆事務局 資料に基づき、各関連機関からの実績報告内容について説明する。保育園・児童館・子育て支援センター、健康課、生涯学習課、図書館の順番に報告を行い、学校の報告については議題２で報告する旨を説明。保育園・児童館・子育て支援センターの説明については、杉浦万記子委員及び向井	

委員へ報告を求める。

◇委員

各保育園、児童館、子育て支援センターの実績報告を行う。

事務局

健康課、生涯学習課、図書館の実績報告を行う。

◇委員長

事務局及び関連機関の報告を受けて、委員の質疑を募る。

(質疑意見なし)

議題1に関する質疑応答を締め切り、議題2「令和2年度子ども読書活動に関するアンケート結果の分析」について事務局へ説明を求める。

◆事務局

資料2に基づき、小学校3・4年生に実施したアンケート結果について説明を行う。また、令和2年度子ども読書活動推進計画に係る小中学校の実績報告を行う。新型コロナウイルスの関係で町内小学校に導入されたタブレットについて、学校での活用状況について山本委員へ報告を依頼する。

◇委員

山本委員より、小学校におけるタブレットの使用状況について報告を行う。調べ学習や教員による読み聞かせにおけるタブレットの活用例について報告を行う。

◆事務局

引き続き、アンケート結果について説明を行う。中央図書館で配布する読書通帳や、中央図書館だよりによる効果について報告を行う。各校の具体的な取組（重点目標）が継続及び定着してきていることを報告する。

◇委員長

事務局及び関連機関の報告を受けて、委員の質疑を募る。

◇委員長

児童館・子育て支援センター、文化センター・保健センター、学校、図書館の令和2年度における計画について事務局からの説明を求める。

◆事務局

令和2年度における計画について児童館・子育て支援センター、文化センター・保健センター、学校、図書館の順に説明をする。

◇委員長

事務局からの説明を受けて、委員の質疑及び意見を募る。

◇委員

・東浦町子ども読書活動推進計画（第三次）の基本理念に「人から人へ伝えよう」という文言がある。家読や学校におけるペア読書、学校行事における人と関わりのある読書活動等、「人と人の関わり」というテーマに関する実績が把握できるアンケート内容であるとよいのではないか。

◇委員長

事務局へ人から人へ伝える読書体験について、把握している事柄の報告を求める。

◆事務局

・アンケート結果により、読書の楽しさについて人へ声をかけるという読書体験についての記載を確認できた。このことは、達成度に温度差はあるが、人から人へ伝える読書体験の第一歩になると考える。

◇委員長

学校における人と関わりのある読書体験について、山本委員へ説明を求める。

◇委員

・コロナ禍のため、ペア読書のような対面での読み聞かせ活動が難しくなった。ただし、教師による読み聞かせは実施した。また、教師の読み聞かせスキルアップの講座を実施した。コロナの飛沫防止として、飛沫防止パーテーションを設置した。そのパーテーションに図書委員が本に関するPOPを展示する活動がみられた。

◇委員長

議題2について質疑を締め切り、議題3「令和3年度読書感想文コンクール」について、事務局へ説明を求める。

◆事務局

令和2年度の読書感想文コンクールについては、例年とは開催方法を変更し、自由応募として実施したことを説明。審査方法についても、例年から変更して実施したため、令和3年度以降の読書感想文コンクール実施の方向性について、資料の実施案に関して委員の皆さまよりご意見をいただきたい旨を説明。

◆事務局

資料に基づき、令和3年度の読書感想文コンクール実施案について、説明を行う。

◇委員長

事務局の説明を受けて、委員の質疑を募る。

◇委員

・学校の立場としては、読書感想文コンクールを自由応募にすることに対してどのように思うか。

◇委員長

・それぞれの立場によると思うが、本を読むことや感想文を書くことが好きな子どもにとっては、さらに読書活動を推進する機会となると考える。学校の立場からすると、自由応募になることで、教員が目を通す作品数が減るため、作品を絞って指導しやすくなるだろう。保護者の立場からすると、子どもの読書離れが進む可能性について、不安を抱くことが想定される。

◇委員

・自由応募とすることで、応募件数が少なくなり、各校から審査のために提出されるべき設定点数に満たない場合の可能性はあるのではないかな。

◇委員長

・その可能性もあるが、今年度の実績から考えると審査のため各校からの作品提出点数は、満たされることが予想される。

◇委員長

来年度案の読書感想文字数制限について委員へ意見を募る。

◇委員

・原稿用紙一枚以上の文字数があれば、東浦町としては応募条件を満たすという認識でよいか。また、上位コンクールにあたる、知多東のコンクール応募基準とは異なり、東浦町独自の入賞基準を設けるという認識でよいか。

◆事務局

その認識で間違いはない。

◇委員

・東浦町の応募条件は原稿用紙一枚以上とする記載があるが、学校へは、愛知県からの読書感想文コンクール要項が届く。そのため、県の応募要項と東浦町の応募要項に違いが生じるが、あくまでも東浦町独自の読書感想文コンクール基準として実施するという認識でよろしいか。保護者からすると県と東浦町の応募要項で違いが生じるため、混乱を招く可能性があるのではないかな。

◆事務局

・上位コンクールへの入賞を目指す生徒もいるため、東浦町読書感想文の応募要項には、愛知県の応募要項とは異なる旨を必ず明記することとする。

◇委員長

・東浦町の応募要項には、字数について「原稿用紙1枚より多く」という記載をするようお願いしたい。原稿用紙1枚以上という記載だと、原稿

用紙1枚に収まる場合でもよいと認識されてしまう。

◆事務局

- ・原稿用紙1枚より多くという記載にすることを承知する。

◆教育長

・読書感想文コンクールの意義というものを学校側がどのようにとらえて取り組むかが重要になってくる。事務局としては、東浦町のコンクールの実施として提案している。今年度の実施を自由応募としたのは、生徒及び保護者の立場のことを考え、宿題としてのプレッシャーをやわらげる意図で例年と異なる応募要項で実施した。県の応募要項と東浦町の応募要項は異なるが、東浦町の応募要項の作品にさらに修正を加える努力をした子は上位コンクールも狙うことができ、努力が報われるという事実を設けて実施するのもひとつの方法であると考えている。

◇委員

・町としては、読書感想文を実施するという投げかけのみにならず、読書感想文に関する講座を設けることによって支援を行う姿勢は良い点だと思う。

◇委員長

議題3についての質疑応答を締め切り、来年度の読書感想文コンクールの実施方針としては、大方本日の議題として提案された実施案に基づいて実施を検討していくことを報告。議題4について事務局に説明を求める。

◆事務局

議題4は特になことを報告。

◇委員長

他の案件がないことを確認し、議事の終了を宣言する。

◆事務局

事務連絡として、委員の任期について実質的に本日の会議で任期が終了することを報告。挨拶をして会議の終了を宣言する。